

新三国トンネルの進捗状況について

質問

新三国トンネル早期開削に関しては今まで幾度となく質問しておりますが、また、期成同盟会でも定期的な会合を持ち常に国県に対し早期の実現を請願しているところでありますが、政局の不安定に伴い事業見直しなど政治的な決断が行われている現状ではその進捗状況が気にかかるところであります。そこで現在の進捗状況をお尋ねします。

町長答弁

この件につきましては先月22日高崎河川国道事務所において三国トンネルの改修案を検討する委員会の初会合が開かれました。委員会は大学の研究者、国交省、



師田 保

新潟県、群馬県の関係者、及び水上町長、湯沢町長の15名で構成され、事務局は高崎河川国道事務所となっています。次回の委員会は4月26日を予定しております。国交省もこの委員会の審議結果を踏まえ、今後できるだけ早い着工を目指したいと述べておりますので、私としても水上町と更なる連携を図り、早期着工に向けた要望活動を展開していくつもりでおります。

浅貝流路工について

質問

浅貝流路工整備についても長年にわたり早期着工をお願いしているところであり、昨より事業実施に向けて再度地権者の同意のもとで測量が実施され、湯沢砂防事務所からも工事

は必ず実施するというありがたいお言葉をいただき、地域住民は長年にわたる要望がようやくかなえられると喜んでいらっしゃる所であります。そこで町として具体的な事業実施時期などについてわかつている範囲で結構ですのでお答えください。

町長答弁

浅貝流路工整備については、今年度予備設計として浅貝川の水利特性を踏まえた溪流保全工の線形の検討を実施していただいております。この検討で大筋の構造が決定するため、これを基に来年度溪流保全工の構造詳細設計を実施する予定と聞いております。国の状況もありませんが、その後地域説明会を行い、用地取得、工事着手の予定と伺っております。これから事業が推

三国・三俣地域の振興策について

進めるよう湯沢砂防事務所に対し要望してまいります。「みつまた道の駅」建設と管理について

質問

三俣振興対策事業の中でいよいよ三俣道の駅整備事業がスタートします。そこで以下についてお尋ねします。

①「三俣道の駅」の整備予定とその運営管理について地域との協議、合意状況はどの程度進んでいるか。

②三俣地域の今後の発展のためにこの事業を契機に、三俣旅館組合、三俣観光協会の統合も一つの案として考えるべきと思うが、如何か。

③施設整備の合意は役員と町だけではなく地域全体の合意が必要と思うが町はどのように対応しているか。

町長答弁

三俣道の駅整備予定は今年度設計し、来年度から実施する計画でしたが各関係者との調整に手間取ったた

め、今年度は基本設計までとなり、実施設計費については来年度に繰り越ししました。現在国に対し事業認定申請中で、認定後用地取得を6月頃から始める予定です。管理運営の地域との協議、合意状況については三俣未来まちづくり協議会と地域の皆様に管理を行っていただく方向で検討しております。三俣旅館組合と観光協会の統合については、地域の組織上の問題であり、町が率先して調整できる事柄ではないと考えています。施設整備に関して地域全体の合意形成が必要ではないかに関しては、三俣未来まちづくり委員会は三俣4町内各町内会長を含め3名から5名が委員となり16名で構成され、月1回ペースで委員会を開催し、町も同席してその都度必要な報告と協議を重ねており、合意は図られているものと認識しております。来年度からはいよいよ下排水路と道の駅の工事が着手する予定ですので、地域とさらに連携しスムーズな事業展開ができるように努力してまいります。